

横浜市地球温暖化対策推進協議会

設立趣意書

今、地球温暖化は着実に進行しています。

近年、わが国においても、集中豪雨、過去最高の台風上陸、そして熱波と最多の真夏日など、多くの異常気象が見受けられています。

これらの異常気象と地球温暖化との因果関係については、科学的に十分に証明されていないものの、多くの人々が地球温暖化の現象として実感したのではないのでしょうか。

今後、この地球温暖化がさらに進行することにより、このような異常気象が大規模かつ高頻度で発生し、市民生活や経済活動に大きな影響をもたらすことが予測されており、この問題はまさに人類の生存に直接関わってくる深刻な問題と言えます。

地球温暖化は、私たち自身の日常生活や通常の事業活動に起因するものであるとも言えます。こうした問題を解決するためには、私たちが前提としてきた経済や社会のあり方そのものを見直し、豊かさを維持しながら環境への影響をできる限り少なくなるような社会へと転換することが必要です。

そのためには、人口360万人を抱える我が国を代表する都市「横浜」においてこそ、市民、事業者、行政のそれぞれの主体が、個々に取り組むことはもとより、それぞれの枠組みを超えた協力体制のもと、一丸となって行動していくことが不可欠であると考えます。

そこで、市民、事業者、行政のパートナーシップをより確かなものとし、地球温暖化対策を点から面へ広げ、「環境行動都市横浜」にふさわしい対策を推進していくため、ここに「横浜市地球温暖化対策推進協議会」を設立します。

平成18年10月19日
「横浜市地球温暖化対策推進協議会」発起人一同